

会計名 一般会計			文化芸術団体育成事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	1					担当係	文化振興係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	活動の支援体制の充実						
	目的	様々な文化創造活動を行う市民が所属する刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援し、文化創造活動の活性化を図る。			主たる内容	○刈谷文化協会の事業及び運営に対する補助 ○刈谷音楽協会の事業に対する補助 ○わたしの刈谷展入賞者へ表彰			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画					根拠法令	
	対象者	刈谷文化協会、刈谷音楽協会			事業期間	平成30年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		――		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助 第14回刈谷音楽祭 第12回刈谷音楽協会演奏会 ・「わたしの刈谷展」受賞作品の報償金授与		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助 第15回刈谷音楽祭 第13回刈谷音楽協会演奏会 ・「わたしの刈谷展」受賞作品の報償金授与		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷文化協会が市制施行70周年記念事業として実施する催事に対する補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助	
		成果	刈谷文化協会が主催する市民文化祭や刈谷音楽協会が主催する音楽祭等を支援したことにより、多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供することができた。						
課題		高齢化に伴う会員数の減少が顕著な団体もあり、新規会員の確保が課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
成果指標	日頃から文化や芸術に親しんでいる市民の割合（％）	29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
指標		—	47.8	—	53.0	53.0			
他市との比較検証	文化協会については、近隣市においてほぼ同額の補助額である。 また、音楽協会については、近隣で音楽家の協会があるのは、岡崎市と安城市のみである。岡崎市では文化協会に所属しており、市が文化協会の活動を支援しており、安城市では活動に対する補助はしていない。								
C 事業コスト	単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①	0	2,869	2,950	3,250	合計	2,950,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	200,000 円	
		一般財源	0	2,869	2,950	3,250	負担金、補助及び交付金	2,750,000 円	
	職員人件費 ②	0	1,312	1,155	1,136				
	総事業費（①+②）	0	4,181	4,105	4,386				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化芸術団体育成事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	様々な文化創造活動を行う市民が所属する刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援することは、本市の文化振興を図るためには必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	刈谷文化協会は、文化振興指導員が事務局を務めており、事業運営や経理など適正に行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市民が文化芸術に触れる機会を提供する刈谷文化協会及び刈谷音楽協会を支援することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	市民が文化芸術に触れる機会を提供することで、本市の文化振興に寄与することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援することは、本市の文化振興を図るためには必要であるため、引き続き支援を継続する。					

会計名			国指定文化財保護増殖事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	6	2						歴史博物館	
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の保護増殖を図るため、調査を含めた各種保護対策を実施し、植生を適切な状態に保つ。		主たる内容	○保存対策調査委員会による植生調査・保護対策 ○調査委員会の指導に基づく小堤西池の水質水位の継続調査 ○カキツバタ保護増殖のための池や東側丘陵地の除草や清掃等 ○カキツバタ開花期における警備や駐車場案内等				
	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画、第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B事業 D実績 O計画 V実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「小堤西池カキツバタ群落保存管理計画」の改定</li> <li>保存対策調査委員会の開催 2回</li> <li>「湿地サミット」の開催</li> <li>水質調査</li> <li>水位調査</li> <li>除草、清掃作業 6日間</li> <li>ナラ枯れ被害木等処理被害木伐採 17本</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>保存対策調査委員会の開催 2回</li> <li>水質調査</li> <li>水位調査</li> <li>除草、清掃作業 6日間</li> <li>丘陵地の樹木伐採</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>保存対策調査委員会の開催 2回</li> <li>水質調査</li> <li>水位調査</li> <li>除草、清掃作業 6日間</li> <li>丘陵地の樹木伐採</li> <li>カキツバタ遺伝子調査</li> <li>活動用地の取得 433㎡</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>保存対策調査委員会の開催 2回</li> <li>水質調査</li> <li>水位調査</li> <li>除草、清掃作業 6日間</li> <li>丘陵地の樹木伐採</li> <li>調査報告書の作成</li> <li>活動用地の取得 1,812㎡</li> </ul>	
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>除草作業には地元「小堤西池のカキツバタを守る会」のほか、企業ボランティアをはじめ多くの市民が参加した。</li> <li>カキツバタ開花期には、以前に比べ開花エリアに広がりが出て、花の数も増えてきた。</li> </ul>							
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>東側丘陵地に、竹や常緑樹が増殖しているため、池への湧水が減少している。</li> <li>地球温暖化などの影響により、池及び東側丘陵地の環境が変化しつつあり、動植物の種類が減少しつつある。</li> <li>池に生息していなかったコイやミンシツピアカミミガメ等によるカキツバタに対する食害及び池の水質悪化が課題であるが、効果的な駆除方法がなく対応に苦慮している。</li> </ul>							
他市との比較検証		<ul style="list-style-type: none"> <li>知立市の八橋のかきつばたは現在も生育不良に陥っており、愛知県と共同で再生に取り組んでいる。</li> <li>ただし、かきつばたまつりは開催されている。</li> <li>豊橋市「葦毛湿原」保存会ボランティア参加数（令和1年度 延べ599人）</li> </ul>							
C事業 コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		7,817	6,937	9,775	15,183	合計 9,775,066 円		
	財源	特定財源	0	0	0	10	報償費	60,000 円	
		一般財源	7,817	6,937	9,775	15,173	需用費	415,411 円	
	職員人件費 ②		2,792	1,813	4,313	3,938	役員費	100 円	
	総事業費（①+②）		10,609	8,750	14,088	19,121	委託料	8,000,555 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			国指定文化財保護増殖事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	2			歴史博物館
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	文化財保護法において、国指定天然記念物の保護は法的業務である。 また、カキツバタは刈谷市の花で市民にも馴染みが深いことから、保護増殖を図る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	地元有志による守る会に日常管理を委託する体制を取っており、直営で実施するよりもコストが節減でき、継続的かつ効果的な保護活動が可能である。市民協働の点からも最適な手段である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	国指定の文化財であるので、国、県との調整が必要であるとともに、調査委員会、守る会との連携も必要であるため、市が主体となって実施すべき事業である。また総合計画でも、カキツバタ群落の保存を掲げており、本事業の実施は妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	開花時期にはメディアにも取り上げられ、市の魅力発信に繋がっている。また、地元の守る会をはじめとする市民の保護への意識も向上している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
保存対策調査委員会による調査・研究の成果をカキツバタ群落の保護対策に反映するとともに、地域住民によって組織される守る会及びボランティアと一体となって保護事業を継続する。 市内唯一の国指定天然記念物の保護・増殖を図るため、自然環境の維持保全の重要性を今後も継続して啓発する。 池の水源確保や外来種の増加に対して、保存対策調査委員会や守る会と対策を協議していく。					

会計名 一般会計			依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	2					担当係	文化振興係		
								歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	市内外の来館者に依佐美送信所の歴史と展示機器の機能や構造を学ぶ機会を提供し、無線通信への親しみと理解を深め、貴重な産業遺産としての価値を後世に伝える。				主たる内容	○館内ガイド ○依佐美送信所関連資料の展示 ○ガイドボランティアの活動支援			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成20年度～			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・来館者数 31,930人 ・ボランティアガイド 114件 1,917人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・来館者数 29,267人 ・ボランティアガイド 120件 2,279人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・市内中学1年生見学ガイド ・来館者数 29,490人 ・ボランティアガイド 132件 2,737人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・来館者数 20,000人 ・ボランティアガイド 100件 2,000人		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドがあることで様々な目的の来館者に対応することができ、好評価を得ている。</li> <li>複数のテレビ、広報紙等から取材の申し込みがあった。</li> <li>ツアー客を含め多くの来館者を集め、刈谷の魅力のアピールに繋げることができた。</li> </ul>								
課題		展示物が開館当初のまま、手を加えられていない。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		ガイドボランティア会員数（人）			44	44	46	49	49	
成果指標		ガイド申込者数（人）			1,917	2,279	2,737	2,000	2,300	
他市との比較検証		依佐美送信所記念館と同じく産業をテーマとしている豊田市産業とくらし発見館においては、ボランティアによるガイドは実施していないため、運営手法の比較が難しい。								
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		100	884	101	1,223	合計 100,680 円			
	財源	特定財源	0	0	0	10	役務費 680 円			
		一般財源	100	884	101	1,213	委託料 100,000 円			
	職員人件費 ②		388	386	385	530				
	総事業費（①+②）		488	1,270	486	1,753				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	2			歴史博物館
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	普通	「依佐美の鉄塔」が建っていた当時を記憶している市民も多く、送信所でどのようなことが行われていたのかを説明することで、刈谷の歴史に対する理解を深めることができる。ガイドボランティアと協働することで、地域からも愛される記念館運営となっている。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	高い	ガイドボランティアの会に委託することで、低いコストでガイド事業を実施している。ガイド事業の計画や反省もガイドボランティアの会自身が行っており、効率的な運営が行われている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	普通	依佐美送信所記念館の施設管理は、指定管理者によって行われているが、ガイド事業は専門性が求められることから、指定管理者による運営は難しい。自主的に活動しているボランティアに対し、ガイドを委託する体制は有効である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	高い	依佐美送信所記念館は、開館以来多くの賞を受賞している。そのため市外・県外からの来館者も多く、機械ではなく人による案内があることで刈谷の貴重な文化資源のPRが効果的に行われ、刈谷市の知名度向上に繋がっている。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
・ガイドボランティアは自発的に知識や記憶の継承・資料化を行っており、市はサポートを継続していく。					

会計名			観光協会補助事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	民間団体が実施する観光振興のための活動を支援することで、市民サービスの向上及び市の活性化を図る。	主たる内容	○刈谷市観光協会が行う観光事業等に要する経費の補助					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画、刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
		根拠法令							
	対象者	刈谷市観光協会		事業期間	平成10年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業 D実績 Oハ 実 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、大名行列・山車祭、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 刈谷アニメcollection（オンライン開催）、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営	
成果		・祭りやイベントの実施機関として大きな役割を果たし、地域内の観光交流の推進と活性化に寄与している。							
課題		・市と観光協会の役割分担を明確化する必要がある。 ・観光協会事務局を市観光係が兼務しているため、積極的な自主財源の確保等の取組みを推進しにくいことから、補助金の削減が難しい。また、市内業者等で構成されている団体であるため、様々な事情等が存在し、合意形成にも時間を要することから、事業の見直しを図ることが難しい。							
Oハ 実 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度
	成果指標	主催・共催事業来場者数等（人）			400,900	386,365	309,980	10,000	480,000
他市との比較検証	観光協会が主催・共催する催事数が多く、また、規模も大きいことから、県内他市町村と比較して補助金額が突出して高くなっている。								
C事業 コスト	単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①	121,314	114,772	111,602	104,957	合計 111,602,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 111,602,000 円		
		一般財源	121,314	114,772	111,602	104,957			
	職員人件費 ②	5,428	3,086	2,696	2,726				
	総事業費（①+②）	126,742	117,858	114,298	107,683				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
	元年度までの累積事業費		0						
	3年度以降の事業費見込		0						

会計名			観光協会補助事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	本市の観光振興を図るためには、市内業者や団体と連携を密にして推進する必要がある。観光協会は市内主要業者等で構成されており、その目的も総合的な観光振興によるまちづくりへの寄与とあるため、公益性も高いと判断していることから本事業は必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	観光事業は時代潮流に合わせた対応が求められる分野であるため、行政が実施するよりも効率的な対応が可能となっている。また、観光協会は様々な団体から構成されているため、各種団体との連携が必要な場合に協力等が得られやすい。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	観光協会事務局を市観光係が兼務していることで、公平性及び公益性が担保されていることから、当該観光団体への補助は適正と考えている。また、総合計画及び観光推進基本計画にも当該団体との連携が示されていることから妥当性は高いと判断している。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	総合計画及び観光推進基本計画に観光協会との連携は明記されている。また、当該団体を支援することで、各催事により観光交流が推進されている現状からも施策への貢献度は高い。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	観光協会への補助は適正と考えているが、観光協会事務局を職員が兼務しているため、市と観光協会の役割分担を明確化させ、補助額の適正化をより一層図るとともに、観光協会の機能強化に取り組む。				



会計名 一般会計			観光推進調査事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	観光を取り巻く社会情勢等に係る調査を行い、本市の観光振興を図る。	主たる内容	○観光関係者等ヒアリング調査 ○都市イメージアンケート調査 ○観光推進の課題整理 ○基本方針（案）の検討					
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市観光推進基本計画					
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	令和元年度 ~ 令和元年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		_____		_____		・来訪者調査 市内5地点 635件 ・インターネット調査 6/25~6/27 1,000件 ・現取組の総括、まとめ ・課題の把握 ・方向性の整理		_____	
成果		観光を取り巻く時代潮流の整理と本市の観光に関する意識・ニーズ調査により、データに基づく課題を整理することができ、指針等を示す上での方向性検討に有用であった。							
課題		特になし。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標	部会実施回数（回）			—	—	4	—	—	
活動指標									
他市との比較検証	近隣市の中には、観光計画などの指針を有している市もあるが観光の位置付けや資源が異なるため、その調査手法も一律ではないことから、一概に比較することはできない。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	3,080	0	合計	3,080,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,080,000 円	
		一般財源	0	0	3,080	0			
	職員人件費 ②		0	0	2,388	0			
	総事業費（①+②）		0	0	5,468	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費			0						
3年度以降の事業費見込			0						

会計名			観光推進調査事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	高い	一般的な観光地ではない本市においては、観光の位置づけを明確にする必要がある。そのためには、本市を取り巻く現状を整理し、市内外からのニーズを把握した上で、今後の観光の果たすべき役割を見極めるのに必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	普通	観光を取り巻く時代潮流は常に変化しており、データを用いた客観的な事実が必要となる。観光分野におけるデータ分析及びトレンドの把握は高い専門性を有するため、市が直接実施するよりも専門業者へ委託した方が効率性が高い。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	高い	市の観光の方向性を示すことへ繋げるための事業であるため、市が主体となるのは当然である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	高い	各種調査等でデータに基づく観光の方向性を示すことは、効果的な地域活性化に繋がり、各施策を取り組む上でも貢献度は高いと考える。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		
本市の観光における課題整理については、一定の成果を得た。今後は、課題等に取り組むため本市における観光の意義などを明確化し、各課や市民等と共有する方策の検討が必要である。					

会計名			歴史文化観光行事等開催補助事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	観光資源の発掘と活用						
	目的	各種保存団体が開催する歴史文化行事に対して補助することで、伝統文化の保存、継承及び観光の振興による地域活性化を図る。			主たる内容	○各種保存団体が主催する行事に要する経費の補助			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	各保存会		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・刈谷万燈祭 開催日 7月29日・30日 来場者数 118,000人 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月27日 来場者数 650人		・大名行列・山車祭 開催日 5月3日 来場者数 44,000人 ・刈谷万燈祭 開催日 7月28日・29日 来場者数 55,000人 ※7月28日は台風で中止 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月26日 来場者数 600人		・刈谷万燈祭 開催日 7月27日・28日 来場者数 55,000人 ※7月27日は台風で中止 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月25日 来場者数 600人		・大名行列・山車祭 ※中止 ・刈谷万燈祭 ※中止 ・野田雨乞笠おどり ※中止	
成果		・（万燈祭）市内外の他のイベントにも誘致されている現状から、刈谷市を代表する祭りとして知名度が向上している。 ・（共通）古くから伝わる行事を支援することで、伝統文化を継承することができている。							
課題		・（共通）後継者育成など団体の自立を促すことで、協賛金の確保などの自主財源を確保し、各催事等の運営が可能となるよう指導していく必要がある。 ・行事を開催するのみで、観光資源として活用できていない。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			—	33.2	—	46.0	46.0
活動指標									
他市との比較検証		近隣市における同様の祭事支援額としては、突出して高い。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		5,534	10,740	5,534	11,258	合計 5,534,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	300	負担金、補助及び交付金 5,534,000 円		
		一般財源	5,534	10,740	5,534	10,958			
	職員人件費 ②		4,265	4,244	2,465	530			
	総事業費（①+②）		9,799	14,984	7,999	11,788			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			歴史文化観光行事等開催補助事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	担い手や支援者の減少により、祭りが衰退傾向にあるため、祭り開催を支援することは、伝統文化の保存継承と後継者育成といった面で必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	本事業の目的達成のための支援規模が適正であるか、各保存会の補助金の支出内容を精査する必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市及び県の無形民俗文化財に指定されている祭りの保存継承のための補助は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	万燈祭や野田雨乞笠おどりは刈谷の伝統的な祭りであり、当該祭りの開催支援は、総合計画等にも示されている。また、祭りが継続することで、歴史的資源として活用できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後は、協賛金などの自主財源のさらなる確保による資金面での自立を促すなど、各保存会の育成に努める必要がある。					

会計名		刈谷の魅力発信事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	文化観光課		
款	項					目	担当係	文化振興係	
2	1					2		観光係	
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	情報共有						
		施策の内容	広報・広聴の充実						
	目的	刈谷が持つ地域資源の魅力を生かして、市内内外へ発信し、住みたい、住み続けたい、訪れてみたいまちを目指し、定住人口の増加へ繋げる。	主たる内容	○歴史文化PRブースの出展 市内内外のイベント等で刈谷の歴史文化を紹介するPRブースを出展する。 ○刈谷城盛上げ隊の運営 市内内外のイベント等へ参加出演する刈谷城盛上げ隊を運営する。 ○東吉野村交流事業 刈谷市民と東吉野村民が天誅組に関する史跡等を交互に訪問する。 ○歴史街道・ものづくり街道のPR パンフレットを作成し、フォトスタンプラリーを開催する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略、第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成25年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業 D実績 Oハ 実 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績	2年度計画		
		・PRブース出展 ブース出展回数 5回 ・刈谷市史跡めぐり開催 参加者数 11人 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 27回		・PRブース出展 ブース出展回数 11回 ・東吉野村交流事業 東吉野村訪問 28人 刈谷市来訪 22人 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 36回		・PRブース出展 ブース出展回数 10回 ・東吉野村交流事業 刈谷市来訪 21人 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 12回 市内催事出演 20回 ・「刈谷遺産」作成 6,000部 ・フォトスタンプラリー 参加者数 29人	・PRブース出展 ブース出展回数 3回 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 12回 市内催事出演 23回		
成果		・市内内外のイベント等においてPRブースの出展や刈谷城盛上げ隊の出演により、刈谷市の魅力をPRできた。 ・刈谷城盛上げ隊の活動拠点を歴史博物館とし、歴史文化に触れる機会を創出することができた。 ・奈良県東吉野村と天誅組関連史跡を巡り、互いの交流を深めることができた。							
課題		・PRブースの出展や刈谷城盛上げ隊の出演の費用対効果の検証が難しい。 ・若い世代に向けてSNSを活用したフォトスタンプラリーを実施したが、参加者は伸び悩んだ。							
Oハ 実 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度
	活動指標	PRブース出展、刈谷城盛上げ隊出演回数（回）			32	47	42	38	38
成果指標	刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			—	33.2	—	46.0	46.0	
	他市との比較検証	本市の魅力に合わせた独自の取り組みであるため、他市と比較できない。							
C事業 コスト 建設事業	単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費①	5,062	5,841	5,580	5,611	合計	5,580,105 円		
	財源	特定財源	0	3	0	4	需用費	535,440 円	
		一般財源	5,062	5,838	5,580	5,607	役務費	13,123 円	
	職員人件費②	6,204	7,021	7,471	5,679	委託料	4,995,470 円		
	総事業費（①+②）	11,266	12,862	13,051	11,290	負担金、補助及び交付金	36,072 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷の魅力発信事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
2	1	2			観光係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	歴史文化を啓発することで、市民に郷土の歴史文化に誇りを持ってもらい、地域の活性化を図る一助とする。 また、愛知県が武将観光を推進しており、本市においても盛上げ隊を活用し、地域資源のPRを推進していることから、県と市で一体的に取り組んでいる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	事業を委託することで職員の負担の軽減を図った。 また、盛上げ隊の隊員にボランティアを採用することでコストを抑えつつ、幅広い人材を確保することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	事業を通じて、総合計画にある「まちの歴史に対する認知度を高める必要」に応えることができる。 また、市が目指す持続可能な発展のためには定住促進が必要であるが、そのための取組である魅力発信は、市が主体的に実施すべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	各種イベントにおいて、甲冑を着用した存在感の強い武将隊が、演舞等を披露しながら刈谷の魅力を発信できるので、訴求力が高く、施策への貢献度は高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
本市の歴史文化を幅広い人々にPRするとともに、刈谷市の魅力を発信していくため、今後も事業を実施する。					

会計名 一般会計			民俗芸能啓発事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	1	担当係	文化振興係					
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的	本市固有の無形民俗文化財保存団体の活動を支援し、先人がこれまで培ってきた郷土の文化財の保存・伝承を図る。				主たる内容	○指定無形民俗文化財の保存団体が愛知県民俗芸能大会等に出演する経費に対する補助		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	無形民俗文化財保存団体			事業期間	平成22年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体に披露や啓発の募集の情報提供</li> <li>申請の事務補助</li> <li>9月17日（刈谷万燈保存会） 催事名：愛知県民俗芸能大会半田市大会 開催地：半田市</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体に披露や啓発の募集の情報提供</li> <li>申請の事務補助</li> <li>8月20日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018 開催地：東京都</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体に芸能大会等のイベントの情報提供</li> <li>申請の事務補助</li> <li>2月1日（小垣江山車保存会） 催事名：あいち山車まつり未来博2020 開催地：名古屋市</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体に芸能大会等のイベントの情報提供</li> <li>申請の事務補助</li> </ul>	
成果		あいち山車まつり未来博2020に出演する小垣江山車保存会を支援することで、本市の伝統文化を広く周知することができた。							
課題		予算に限りがあるため、複数の団体が民俗芸能大会に出演した場合に補助金を交付できない可能性がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		出演支援回数（団体）			1	1	1	1	1
指標									
他市との比較検証		民俗芸能大会等への出演に際し、市町村から補助金の交付を受けていない団体が多いことから、本市は、他市に比べて手厚い支援ができています。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		300	42	11	300	合計	11,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	11,000 円	
		一般財源	300	42	11	300			
	職員人件費 ②		388	386	231	227			
	総事業費（①+②）		688	428	242	527			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	10					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	文化・芸術						
			施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的		十朋亭を市民に憩いの場として提供できるよう管理することで、文化の向上及び福祉の増進を図る。		主たる内容	○受付等業務委託 ○施設・設備管理				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市十朋亭条例・刈谷市十朋亭条例施行規則							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和47年度～				
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>夜間受付等業務委託</li> <li>空調設備保守業務委託</li> <li>消防用設備保守管理委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>夜間受付等業務委託</li> <li>空調設備保守業務委託</li> <li>消防用設備保守管理委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>夜間受付等業務委託</li> <li>空調設備保守業務委託</li> <li>消防用設備保守管理委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>夜間受付等業務委託</li> <li>空調設備保守業務委託</li> <li>消防用設備保守管理委託</li> </ul>		
成果		年代を問わず、四季を通じて会合、レクリエーション、休憩等で多くの方の利用に供し、住民の福祉の増進を図ることができた。								
課題		亀城公園再整備計画の中で、一体的に施設のあり方を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		提供した時間区分数（回）			845	751	562	400	850	
指標										
他市との比較検証		類似の施設がなく、比較が難しい。								
C 事業コスト V		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,090	5,240	4,958	5,934	合計	4,957,662 円		
	財源	特定財源	846	704	579	700	需用費	728,881 円		
		一般財源	4,244	4,536	4,379	5,234	役務費	51,091 円		
	職員人件費 ②		4,653	4,629	4,621	4,544	委託料	4,170,190 円		
	総事業費（①+②）		9,743	9,869	9,579	10,478	負担金、補助及び交付金	7,500 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0		十朋亭使用料 損害賠償金				
		3年度以降の事業費見込		0						



会計名 一般会計			史跡めぐり開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	2					担当係	歴史博物館	
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が本市の文化財や歴史に気軽に触れ、学ぶことができる機会を提供することで、文化財の活用と歴史の啓発を図る。	主たる内容	○史跡めぐりの開催（年3回） ○市内学校の総合的な学習に伴うガイドの派遣					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	社会教育法、博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成15年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業実績 D実績 O 実施V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡めぐり案内（年3回：築地・恩田・鎌倉街道、小垣江コース）</li> <li>小学3年生体験学習における案内、説明</li> <li>一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施</li> <li>郷土資料館案内補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡めぐり案内（年3回：泉田、小山、元刈谷コース）</li> <li>小学3年生体験学習における案内、説明</li> <li>一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施</li> <li>郷土資料館案内補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡めぐり案内（1回：城下町コース※雨天・新型コロナウイルスの影響で2回は中止）</li> <li>小学3年生体験学習における案内、説明</li> <li>一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施</li> <li>郷土資料館案内補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡めぐり案内（年3回：鎌倉街道、野田・半城土、一ツ木コース）</li> <li>小学3年生体験学習における案内、説明</li> <li>一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施</li> <li>郷土資料館案内補助</li> <li>※歴史博物館へ所管替え</li> </ul>	
成果		・ボランティアの会員自身で歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、積極的に向上心をもって活動している結果、依頼者からは好評をいただき、史跡めぐりの参加者アンケート結果からは8割以上の参加者から満足との評価を得た。 ・地域づくりのために活動しているの好ましい例として、愛知県より令和元年度地域づくり活動表彰にて表彰を受けた。							
課題		参加者の増加に伴い、駐車スペースの確保が課題となってきた。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		史跡めぐり参加者数（人）			223	231	61	240	240
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			—	33.2	—	46.0	46.0
他市との比較検証		にしお観光ボランティアガイドの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 安城ふるさとガイドの会…モデルコース6コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 知立市観光ボランティアの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 三州高浜鬼みち案内人の会…モデルコース1コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施							
C事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費①		181	182	174	182	合計	173,705 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,705 円	
		一般財源	181	182	174	182	委託料	172,000 円	
	職員人件費②		620	640	655	644			
	総事業費（①+②）		801	822	829	826			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			史跡管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	2					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	史跡を適切に管理するとともに、文化財を市内外へ向けて広報することで、文化財の保護と啓発普及を図る。			主たる内容	○史跡の維持管理及び剪定等の管理委託				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者				事業期間	令和元年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		_____		_____		<ul style="list-style-type: none"> <li>於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、宍戸弥四郎碑の樹木剪定</li> <li>椎の木屋敷跡、於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、宍戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理</li> <li>椎の木屋敷跡の設備管理等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、宍戸弥四郎碑の樹木剪定</li> <li>椎の木屋敷跡、於大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、宍戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理</li> <li>椎の木屋敷跡の設備管理等</li> </ul>		
成果		・市が保有する史跡を適切に管理した。								
課題		・住宅に近接する史跡が多く、樹木の生育状況等によっては近隣住民からの苦情に発展する可能性がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		史跡管理数（箇所）				—	—	5	5	5
活動指標										
他市との比較検証		・史跡の保有状況は各自治体によって異なるため、比較が難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	3,979	4,534	合計 3,979,199 円			
	財源	特定財源	0	0	9	18	需用費 60,737 円			
		一般財源	0	0	3,970	4,516	役務費 7,733 円			
	職員人件費 ②		0	0	231	227	委託料 3,901,440 円			
	総事業費（①+②）		0	0	4,210	4,761	使用料及び賃借料 9,289 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料				
3年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			史跡整備事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	2					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	史跡等を適切に整備することで、文化財の保護と活用を図る。			主たる内容	○椎の木屋敷跡内トイレ照明のLED化 ○宮城道雄供養塔生垣撤去・フェンス設置工事				
	位置づけ	関連計画 根拠法令								
	対象者				事業期間	令和元年度 ~ 令和元年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		_____		_____		・トイレ照明器具のLED化（椎の木屋敷跡） ・生垣撤去及びフェンス設置（宮城道雄供養塔）		_____		
		成果	・椎の木屋敷跡のトイレ照明器具をLED化することで、利用者の利便性向上と省エネに寄与した。 ・宮城道雄供養塔の生垣を撤去し、フェンスにすることで、樹木剪定等管理経費の低減を図った。							
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		設置工事数				—	—	2	—	—
活動指標										
他市との比較検証	・史跡の保有状況は各自治体によって異なるので、比較が難しい。									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	1,946	0	合計		1,946,060 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費		1,946,060 円	
		一般財源	0	0	1,946	0				
	職員人件費 ②		0	0	539	0				
	総事業費（①+②）		0	0	2,485	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費			0							
3年度以降の事業費見込			0							

会計名			わんさか祭り花火打ち上げ事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	わんさか祭りの魅力向上を目指すとともに観光の振興を図る。	主たる内容	○花火打ち上げに伴う経費					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月19日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月18日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月17日 発数：約7,000発（全体）		—	
成果		・花火打ち上げ場所を変更したことで、会場内の雑踏の緩和や花火観覧場所の拡大に繋げることができた。 ・花火を打ち上げることで、市内で開催されるイベントの中で最も集客力を持つイベントとなり、市外からも多くの人が集まる知名度が高い催事となっている。							
課題		・会場内外での花火観覧場所の確保や会場周辺での交通渋滞、迷惑駐車が課題となっている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標	来場者数（人）		156,000	157,500	152,000	—	152,000		
指標									
他市との比較検証	近隣では、岡崎市、豊田市、碧南市（半田市及び武豊町と共催）、西尾市、みよし市等で花火大会を実施している。								
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		10,000	10,000	9,967	0	合計	9,967,030 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	9,967,030 円	
		一般財源	10,000	10,000	9,967	0			
	職員人件費 ②		1,551	1,543	1,925	0			
	総事業費（①+②）		11,551	11,543	11,892	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			広域観光推進事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	広域的な視点での観光施策の充実や地域のつながりを強め、地域活性化を目指す。			主たる内容	○衣浦定住自立圏の観光関連事業に伴う経費 ○西三河広域観光推進協議会の運営負担金			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
			根拠法令	西三河広域観光推進協議会規約					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成27年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実</li> <li>西三河9市1町の自治体が連携したイベントの実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実</li> <li>スタンプラリーの実施</li> <li>西三河フォークジャンボリーへの出展</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実</li> <li>協議会総合ブースの西三河9市1町内イベントへの出展</li> <li>定住自立圏観光パンフレット「るるぶきぬうら」改訂</li> <li>定住自立圏連携イベントへの出展</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実</li> <li>西三河広域観光推進協議会主催の「西三河ぐるっとグルメスタンプラリー」の冊子作成</li> <li>定住自立圏共生ビジョン改訂内容の検討</li> </ul>	
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>西三河広域観光推進協議会公式サイト「西三河ぐるっとナビ」で情報発信を継続したほか、西三河地域（9市1町）におけるイベントに協議会ブースを出展し、西三河の周遊観光を推進した。</li> <li>定住自立圏域のイベントに相互出展したほか、定住自立圏観光パンフレット「るるぶきぬうら」を体験をテーマにした内容で改訂し、訴求力の高い冊子で圏域の繋がりのPRを図った。</li> </ul>							
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信サイトで一層のPRを行い、認知度の向上及び利用促進に取り組む必要がある。</li> <li>発信力の強化と周遊観光促進により、交流人口を拡大する各取組を実施しているが、その効果の検証が不十分である。</li> <li>合意形成に時間を要する。</li> <li>各市町で観光に対する考え方が異なるため、協議会としての方向性が定めにくい。</li> </ul>							
C 事業コスト	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
	活動指標	ホームページアクセス数（件）	314,760	302,783	265,475	390,000	390,000		
指標									
他市との比較検証	近隣市町で共同で実施する事業であるため、他市と比較できない。								
V	単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①	353	418	4,921	1,155	合計	4,920,764 円		
	財源	特定財源	0	0	2,040	0	委託料	4,476,810 円	
		一般財源	353	418	2,881	1,155	負担金、補助及び交付金	443,954 円	
	職員人件費 ②	969	964	1,617	1,666				
	総事業費（①+②）	1,322	1,382	6,538	2,821				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
	元年度までの累積事業費		0		衣浦定住自立圏構成市町負担金				
	3年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			観光施設等管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
7	1	2					担当係	観光係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	刈谷市及び衣浦定住自立圏の活性化を目指し、各観光施設の充実を図る。	主たる内容	○オアシス館刈谷の管理経費 ○万燈蔵、観光倉庫等の管理経費						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成30年度～					
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上げ料</li> <li>火災保険料</li> <li>電気料</li> <li>オアシス館シアターシステム更新</li> <li>観光案内板等修繕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上げ料</li> <li>火災保険料</li> <li>電気料</li> <li>情報検索端末パソコン等更新</li> <li>観光案内板等修繕</li> <li>第二観光用倉庫フェンス撤去</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上げ料</li> <li>火災保険料</li> <li>電気料</li> <li>観光案内板等修繕</li> <li>観光案内所電動アシスト自転車購入</li> </ul>		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>オアシス館の情報検索端末パソコンを更新し、観光情報をより迅速に案内できるよう環境整備することで来館者へのサービスに繋がった。</li> <li>第二観光用倉庫を管理する上で支障になっていたフェンスを撤去し、自己所有地の適正な管理が図れるよう整備した。</li> </ul>								
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>オアシス館刈谷の展示内容が恒常化している上、刈谷ハイウェイオアシス内にあるという立地上の特性を活かしきれておらず、効果的な情報発信をしているとは言い難い。</li> </ul>								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
成果指標	オアシス館刈谷来場者数（人）		546,400	513,500	484,050	680,000	680,000			
活動指標										
他市との比較検証	倉庫や施設の規模等が異なるため、他市と単純に比較することは難しい。									
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費①		0	2,519	2,363	2,448	合計 2,363,103 円			
	財源	特定財源	0	292	289	308	需用費 51,461 円			
		一般財源	0	2,227	2,074	2,140	役務費 28,658 円			
	職員人件費②		0	278	308	303	委託料 441,154 円			
	総事業費（①+②）		0	2,797	2,671	2,751	使用料及び賃借料 1,669,030 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
3年度以降の事業費見込		0		光熱水費実費徴収金 鉄道高架下倉庫等賃借料						

会計名 一般会計			観光PR推進事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
7	1	2					担当係	観光係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	本市の観光資源を効果的に発信することで観光推進を図る。			主たる内容	○「VR-CAR」のリース費用				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画							
			根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~ 令和元年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		_____		_____		・VR-CARの常設設置 (刈谷駅前観光案内所)		_____		
成果		本市の地域資源をバーチャル体験できるVRと小型自動車COMSを融合させた先進的な取組で、体験者に本市の魅力をより印象づける手段として有用な取組であった。								
課題		観光案内所での常設が基本であったため、体験者が案内所の来所者に限られ、幅広い層への展開ができなかった。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標	VR-CAR体験者数（人）			—	—	471	—	—		
活動指標										
他市との比較検証	VR-CARの導入は本市が先進的に取り組んだもので他市と比較できない。									
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	1,079	0	合計 1,079,100 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料 1,079,100 円			
		一般財源	0	0	1,079	0				
	職員人件費 ②		0	0	539	0				
	総事業費（①+②）		0	0	1,618	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								